

みんなのポジトリ

国立民族学博物館学術情報リポジトリ National Museum of Ethnology

SER no.137; Cover, contents, and others

メタデータ	言語: eng 出版者: 公開日: 2016-10-05 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10502/00006092

Re-Collection and Sharing Traditional Knowledge, Memories, Information, and Images

Challenges and the Prospects on Creating
Collaborative Catalog

Edited by

Atsunori Ito

National Museum of Ethnology
Japan 2016

ISSN 1340-6787
ISBN 978-4-906962-46-4 C3039

伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有
— 民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望

伊藤敦規
編



伝統知、記憶、情報、イメージ の再収集と共有

— 民族誌資料を用いた協働カタログ
制作の課題と展望

伊藤敦規 編

国立民族学博物館 2016

国立民族学博物館 調査報告

137

伝統知、記憶、情報、イメージの 再収集と共有

— 民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望

伊藤敦規 編

国立民族学博物館

2016

目 次

はじめに	伊藤 敦規	1
国立民族学博物館の収蔵資料と今後の活用 ― 挨拶にかえて	須藤 健一	5
Brief overview of Minpaku Collection and Foresight: Greetings	Ken'ichi Sudo	11
国立民族学博物館におけるフォーラム型情報ミュージアム構想について	岸上 伸啓	15
An Info-Forum Museum for Cultural Resources of the World: A New Development at the National Museum of Ethnology	Nobuhiro Kishigami	25
記録を正す ― ズニ博物館の協働カタログシステム構築	ジム・イノータ	35
Setting the Record Straight: Building a Collaborative Collection System	Jim Enote	41
ソースコミュニティの人々のための博物館資料熟覧	オクテイピアス・シオウテワ ジム・イノータ	45
Collection Reviews for the Source Community	Octavius Seowtewa and Jim Enote	57
北アリゾナ博物館におけるソースコミュニティとの所蔵資料管理	ロバート・ブルーニグ	67
MNA's Collection Management with Source Communities	Robert Breunig	79

台湾原住民族に関する情報遺産の記録化	野林 厚志	89
Documenting Information Heritage on the Indigenous Peoples in Taiwan	Atsushi Nobayashi	95
民族誌的知見の形成と共有の場としてのフォーラム型情報ミュージアム（コメント）	福岡 正太	101
Info-Forum Museum as a Field of Formation and Sharing of the Ethnographic Knowledge: Comment	Shota Fukuoka	105
在外アイヌ資料調査経験から（コメント）	山崎 幸治	109
Overseas Ainu Collections and Info-Forum Museum Project: Comment	Koji Yamasaki	113
総合討論		119
おわりに	伊藤 敦規	131
ワークショップ日程		134
発表者・討論参加者一覧		136

伝統知、記憶、情報、イメージの再収集と共有
— 民族誌資料を用いた協働カタログ制作の課題と展望

*Re-Collection and Sharing Traditional Knowledge, Memories, Information, and Images:
Problem and the Prospects on Creating Collaborative Catalog*

開催日：2014年 1 月28日(火)～ 1 月29日(水)

場 所：国立民族学博物館（1 日目：収蔵庫、2 日目：第4 セミナー室）

主 催：国立民族学博物館

共 催：北海道大学 アイス・先住民研究センター

関連プロジェクト：

機関研究 民族学資料の収集・保存・情報化に関する実践的研究

機関研究 文化遺産の人類学

共同研究 米国本土先住民の民族誌資料を用いるソースコミュニティとの協働関係構築に関する研究

プログラム：

* 1 月28日(火) [収蔵庫でのズニ資料熟覧]

時間 9:00 a.m. ～5:00 p.m.

会場 1F 収蔵庫

* 1 月29日(水) [研究発表とディスカッション]

時間 1:00 p.m. ～5:30 p.m.

会場 2F 第4 セミナー室

13:00～13:10	挨拶「国立民族学博物館の所蔵資料と今後の活用」 須藤健一（国立民族学博物館 館長）
13:10～13:20	趣旨説明 伊藤敦規（国立民族学博物館 研究戦略センター 助教）
13:20～13:40	発表1「民博におけるフォーラム型情報ミュージアムの構想」 岸上伸啓（国立民族学博物館 研究戦略センター 教授）
13:40～14:05	発表2「台湾原住民に関する情報遺産の記録化」 野林厚志（国立民族学博物館 研究戦略センター 教授）
14:05～14:40	発表3 “Creating Collaborative Catalogs Project of AAMHC” Jim Enote (Director, A:shiwi A:wan Museum and Heritage Center)
14:40～15:15	発表4 “Collection Reviews for the Source Community” Octavius Seowtewa (Jewelry Artist and Zuni Religious Leader) Jim Enote (Director, A:shiwi A:wan Museum and Heritage Center)
15:15～15:35	休憩
15:35～16:10	発表5 “MNA’s Collection Management with Source Communities” Robert Breunig (Director, Museum of Northern Arizona)
16:10～16:25	コメント1「民族誌的知見の形成と共有の場としての情報ミュージアム」 福岡正太（国立民族学博物館 文化資源研究センター 准教授）
16:25～16:40	コメント2「在外アイヌ資料調査経験から」 山崎幸治（北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 准教授）
16:40～17:25	総合討論
17:25～17:30	閉会挨拶 伊藤敦規（国立民族学博物館 研究戦略センター 助教）

※所属・職名はすべて開催当時のもの

発表者・討論発言者一覧

【国内】

飯 田 卓 (いいだ たく)	国立民族学博物館 准教授
伊 藤 敦 規 (いとう あつのり)	国立民族学博物館 助教
小 川 さやか (おがわ さやか)	立命館大学 准教授
岸 上 伸 啓 (きしがみ のぶひろ)	国立民族学博物館 教授
佐々木 史 郎 (ささき しろう)	国立民族学博物館 教授
須 藤 健 一 (すどう けんいち)	国立民族学博物館 館長
玉 山 ともよ (たまやま ともよ)	国立民族学博物館 外来研究員
野 林 厚 志 (のばやし あつし)	国立民族学博物館 教授
福 岡 正 太 (ふくおか しょうた)	国立民族学博物館 准教授
山 崎 幸 治 (やまさき こうじ)	北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 准教授

【国外】

Jim Enote (ジム・イノーテ)	ズニ博物館 館長
Octavius Seowtewa (オクティビアス・シオウテワ)	ズニ宗教指導者・宝飾品作家
Robert Breunig (ロバート・ブルーニグ)	北アリゾナ博物館 館長

※所属・職名はすべて開催当時のもの

Senri Ethnological Reports (最新号)

当館のウェブサイトにてバックナンバーのPDFをダウンロードすることができます。

<https://minpaku.repo.nii.ac.jp/>

- No.136 中国地域の文化遺産——人類学の視点から (2016; 河合洋尚・飯田 卓編; 日本語)
- No.135 Культура народов Сибири и Дальнего Востока в музейных коллекциях России и Японии методы сбора, учета, хранения и экспозиции (2016; Ред. Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シャグラノヴァ O. A.・佐々木史郎編); ロシア語)
- No.134 国立民族学博物館所蔵 鍋沢元蔵ノートの研究 (2016; 中川 裕・遠藤志保編; 日本語)
- No.133 *An Audiovisual Exploration of Philippine Music: The Historical Contribution of Robert Garfias* (2016; ed. Terada Yoshitaka; 英語)
- No.132 環北太平洋地域の先住民文化 (2015; 岸上伸啓編; 日本語)
- No.131 カナダ先住民芸術の歴史的展開と現代的課題——国立民族学博物館所蔵のイスラットおよび北西海岸先住民の版画コレクションをととして (2015; 齋藤玲子編; 日本語)
- No.130 梅棹忠夫の内モンゴル調査を検証する (2015; 娜仁格日勒編; 日本語)
- No.129 *Asian Museums and Museology 2014: International Workshop on Asian Museums and Museology in Thailand* (2015; eds. Naoko Sonoda, Kyonosuke Hirai, Jarunee Incherdchai; 英語)
- No.128 *Культурное наследие бурят, эвенков и семейских: Предметы материальной и духовной культуры из коллекций Этнографического музея народов Забайкалья (Республика Бурятия, Россия)* (2015; Шагланова Ольга А., Сасаки Сиро (シャグラノヴァ O. A.・佐々木史郎編); ロシア語・英語)
- No.127 近代社会における指導者崇拜の諸相 (2015; 韓敏編; 日本語)
- No.126 パウイナンガ・アボリジナル組合の議事録 (1978～1994) から見る対アボリジニ政策とインフラ整備の歴史——マニングリダと周辺アウトステーションの活動史 (2015; 久保正敏・堀江保範編著; 日本語)
- No.125 *Asian Museums and Museology 2013: International Research Meeting on Museology in Myanmar* (2015; eds. Naoko Sonoda, Katsumi Tamura, Nu Mra Zan; 英語)
- No.124 土方久功日記Ⅴ (2014; 土方久功著, 須藤健一・清水久夫編; 日本語)

[国立民族学博物館刊行物審査委員会]

須藤健一 館長
西尾哲夫 副館長
吉田憲司 副館長
園田直子 民族社会研究部
池谷和信 民族文化研究部
關 雄二 先端人類科学研究部
鈴木七美 研究戦略センター（研究出版委員長）
野林厚志 文化資源研究センター

平成28年 9 月20日発行

国立民族学博物館調査報告 137

編著者 **伊 藤 敦 規**

発 行 人間文化研究機構
国立民族学博物館
〒565-8511 吹田市千里万博公園10-1
TEL. 06(6876)2151(代表)

印 刷 株式会社 遊文舎
〒532-0012 大阪市淀川区木川東4-17-31
TEL. 06(6304)9325(代表)
